

飯能市地域公共交通計画 策定方針(案)

令和4年度 第18回飯能市地域公共交通対策協議会

計画の位置づけ

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」

- 令和2年に改正され、地域公共交通計画の策定が努力義務化された

「飯能市地域公共交通計画(旧飯能市地域公共交通網形成計画)」(平成30年度～令和4年度)

- 以前より、市は計画に基づき公共交通網の維持・確保について取り組みを行ってきた

計画期間の終期を迎え新たな計画を策定していくにあたり、近年の課題として

- 人口減少・高齢化の本格化
- コロナ禍による生活様式の変容
- 高齢者の運転免許返納の増加
- 公共交通空白地域における住民の移動手段の確保
- 都市回廊空間や観光拠点などを結ぶネットワークとしての公共交通
- 持続可能性を考慮した事業の実施 などが挙げられる

このような状況に鑑み、現計画の効果を検証・内容を見直し、
これからの飯能市の「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする
「マスタープラン」を策定する

計画区域と計画期間

計画の区域

飯能市全域とする

- ただし、市民の移動実態等を視野に、区域外についても当該自治体と連携して事業を実施できるようにする

計画期間

令和5年度から令和9年度の5年間を基本とする

基本方針と基本目標

基本方針・基本目標は維持し、個別の施策については検証・見直しをする。

基本方針	基本目標1
暮らしを支える地域公共交通の 実現をめざして	地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」
～市・交通事業者・地域が協働して 「まもる・育てる・つくる」公共交通～	基本目標2 路線バスを身近にして公共交通を「育てる」
	基本目標3 生活を支える公共交通手段を「つくる」

計画作成の手順



地域公共交通計画等の作成と運用の手引き



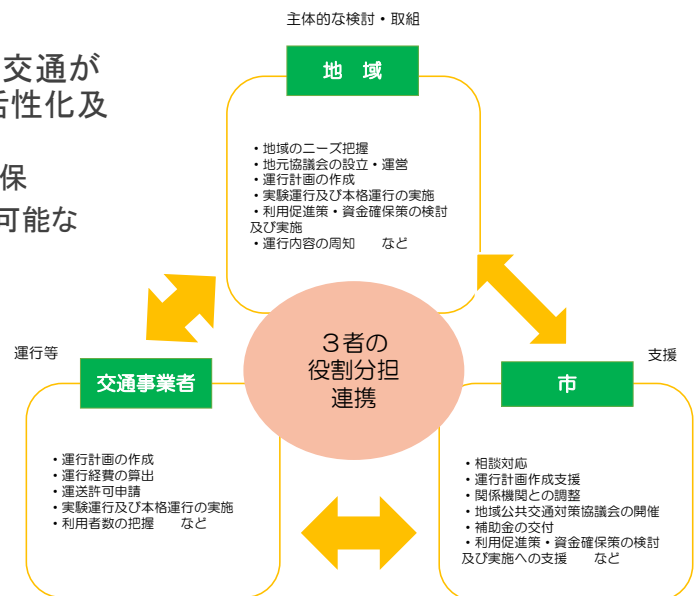
- ・地域の現状、公共交通の概況、移動特性、ニーズ等の把握
 - ・上位・関連計画、他部局の施策・予算等について整理
 - ・既存の網形成計画・連携計画等の評価
 - ・地域公共交通活性化・再生の促進に関する基本方針の記載内容確認
- ↓
- ・地域公共交通の現状・問題点、課題の整理
 - ・地域公共交通計画の基本方針・目標の検討
 - ・目標の実現のための施策の検討（地域公共交通特定事業の活用）
- ↓
- ・計画案の作成
 - ・住民利用者等の意見の反映（パブリックコメント等）
 - ・協議会の了承

検討項目

基本的な方針

地域が目指すべき将来像とともに、その中で公共交通が果たすべき役割を明確化した上で、公共交通の活性化及び再生に向けた取組の方向性を定める。

- まちづくり、観光振興等の地域戦略との一体性の確保
- 地域全体を見渡した地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保
- 地域特性に応じた多様な交通サービスの組合せ
- コンパクトプラスネットワークのまちづくりを踏まえた更なる公共交通ネットワークの確保・充実
- 住民の協力を含む関係者の連携



検討項目

計画の目標

- 地域の関係者が共通認識をもって取組を推進できるよう、可能な限り、具体的かつ明確な目標を設定
- 事業に関する PDCA サイクルを強化し、実効性を高めていくために客観的・定量的な指標を設定
- 公共交通がもたらすクロスセクター効果に着目した目標についても検討

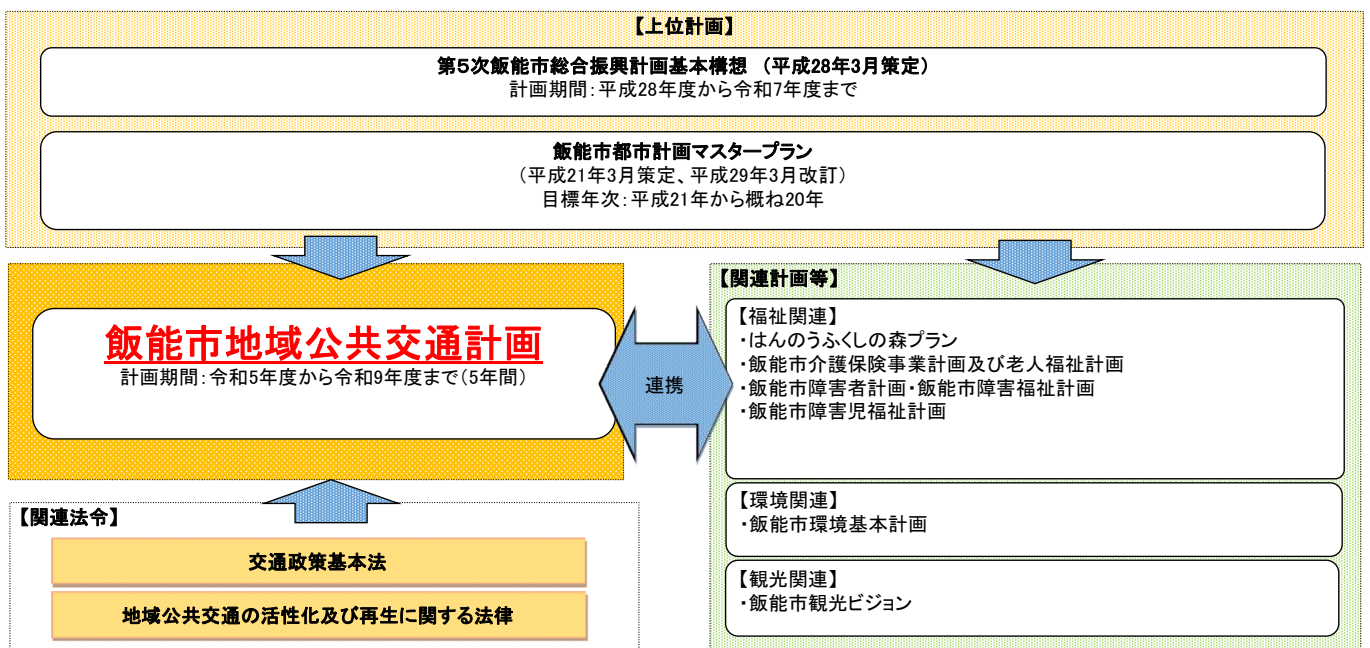
事業・実施主体

- 目標達成のために提供されるべき地域旅客運送サービスの全体像を明確化
- 事業の着手予定時期・実施予定期間については、可能な限り具体的に記載

達成状況の評価

- 毎年度の定期的なフォローアップ
- 計画に位置付けられた事業について、実施状況を適切に管理

検討項目 他の計画との連携

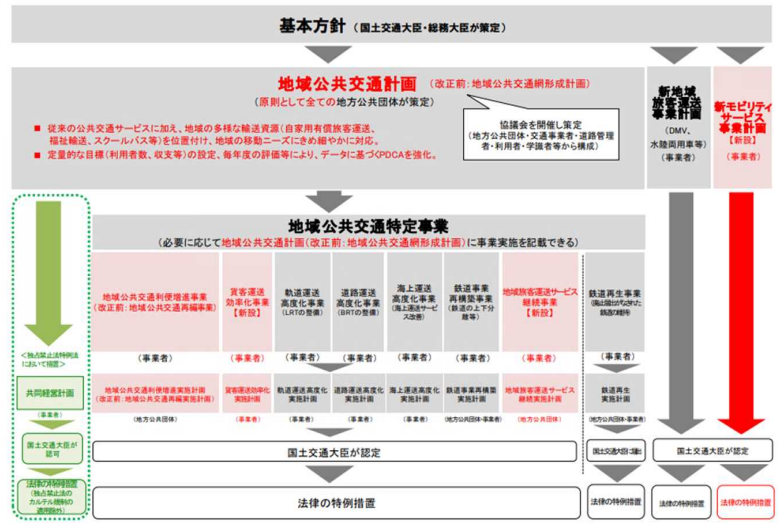


検討項目

運行費補助と地域公共交通計画の連動化

- 地域公共交通計画に国庫補助事業を連動させ、位置づけを記載

SDGs・MaaSなど最近のトレンドとの連動化



▲改正後の活性化再生法に基づく計画制度の体系

情報分析・整理

地域の現状や移動特性・ニーズに関する整理

- 既存資料等の活用
 - 各種統計調査・オープンデータなどの整理・活用
 - 市内交通事業者等からの利用データの提供
- アンケート調査等の実施

地域公共交通の運行実態の把握

- 現状の地域公共交通網(鉄道、路線バス等)の運行ダイヤ、運行本数等の運行状況、公的負担の状況(補助制度別の推移等)などの現状を把握・分析
- 事業者からの提供データを用いて、公共交通の利用者数、路線別の収支状況を整理

情報分析・整理

アンケート調査等の実施

市内において、高齢者や学生、子育て世代等、特に移動に対する課題を抱えている住民および来街者に対し、アンケート調査及びグループインタビューを実施

市民アンケート調査

- 地区ごとに無作為抽出した市内合計2,000世帯程度を想定。

利用者アンケート調査

- 観光施設等でのヒアリングなど

グループインタビュー

- 属性別に3回程度を想定

関係機関ヒアリング調査

- バス等の利用実態を把握・整理

スケジュール

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
協議会		●				●		●				●
実績・現状把握	→											
アンケート/調査		内容の検討・作成		市民アンケート								
計画案	方針の策定		計画案の作成					パブコメ		修正	策定	
補助金等		●	交付決定	コンサル委託								●
											納品	実績報告